

卓球競技(知的障害部門)申し合わせ事項

5月29日 駒沢オリンピック公園総合運動場
体育館

競技規則

本項に定める以外は、平成22年度(財)日本障害者スポーツ協会編「全国障害者スポーツ大会競技規則」により行う。

競技方法

- (1) 試合は1ゲーム11ポイントの5ゲームズマッチとし、3ゲーム先取とする。
- (2) 男子、女子それぞれ19歳以下、20歳～35歳、36歳以上の3部に分けて行う。
- (3) 各部、予選をリーグ戦で行い、各リーグ上位者による順位決定戦をトーナメントで行う。
但し、各部の参加者数によってはリーグ戦の順位で決定することがある。
- (4) 決勝トーナメントの場合は3位決定戦は行わない。

招集方法

招集時間は、試合開始10分前とする。招集場所は当日掲示する。

ナンバーカード

主催者の用意したものを競技用シャツの背部に付けること。

表彰

競技終了後競技会場で行う。各区分とも1位、2位、3位にメダルを、それ以外の参加者に敢闘賞を授与する。

その他

- (1) 試合球は、ニッタクスリースタープレミアム硬球(白40mm)を使用する。
- (2) JTTA公認以外のユニフォームを着用する場合は、使用球と同系色は避けること。
- (3) ラケットの両面にラバーを貼る場合は異色とすること。
- (4) 台にフリーハンドがさわっても失点とはならない。ただし、故意に触れたり動かしたりした場合は反則とする。
- (5) 通常のサーブが困難な選手に限り、監督の申し出があった時にボールを台に一度落としてから打つことを認める。
この場合、ラケットの面を下に向けて打つことは禁止する。
- (6) サーブ時の反則(静止や、投げ上げの高さ等)はとらないが、正しいサーブが行えるよう、試合終了後審判による指導を行うことがある。
- (7) 知的障害等が原因と認められる試合の中断があった場合、1つのマッチでの中断時間は最大10分とする。
また、速やかな試合進行のために、審判、監督、介護者等が競技者に進行を促す言葉をかけたり選手に触れることができる。
- (8) 当日欠席が出た場合、リーグ戦については組合せを変更することがある。その場合は監督または本人に実技指導の時間に連絡を行う。
- (9) 組み合わせについては、主催者が関係者立会いのもと代理抽選で決定する。

※ 大会プログラム、ナンバーカード(ピンク色)は事前に送付する。

※障害別参加区分

障 害 区 分	区分番号
知的障害	18